PXシリーズ

プリンタドライバ
使い方ガイド

プリンタドライバやユーティリティの使い方を説明しています。また、さまざまな印刷の目的に応じた設定方法を詳しく説明しています。目的に応じて必要な章をお読みください。

NPD3449-00

本書の使い方と掲載画面

本書の画面は機種の違いなどにより実際の画面と多少異なる場合があります。**また、印刷可能な用紙サイズや余白などの設定可能な値や制限値については、プリンタ本体に添付されている取扱説明書をご覧ください。**

マークの意味

本書中では、いくつかのマークを用いて重要な事項を記載しています。これらのマークが付いている記述は必ずお読みください。それぞれのマークには次のような意味があります。

この表示を無視して誤った取り扱いをすると、プリンタ本体が損傷したり、プリンタ本体、プリンタドライバやユーティリティが正常に動作しなくなる場合があります。この表示は、本製品をお使いいただく上で必ずお守りいただきたい内容を示しています。

補足説明や参考情報を記載しています。

→ 関連した内容の参照ページを示しています。

Windows の表記

Microsoft® Windows® 2000 Operating System 日本語版
Microsoft® Windows® XP Home Edition Operating System 日本語版
Microsoft® Windows® XP Professional Operating System 日本語版
Microsoft® Windows Vista® Operating System 日本語版

本書では、上記の OS（オペレーティングシステム）をそれぞれ「Windows 2000」「Windows XP」「Windows Vista」と表記しています。また、これらの総称として「Windows」を使用しています。

Mac OS の表記

Mac OS X v10.2.8、v10.3、v10.4、v10.5

本書では、上記各オペレーティングシステムを「Mac OS X」と表記しています。

商標

ご注意

もくじ

プリンタソフトウェアの使い方（Windows）

機種の違いにより、実際の画面と多少異なる場合があります。

プリンタドライバ

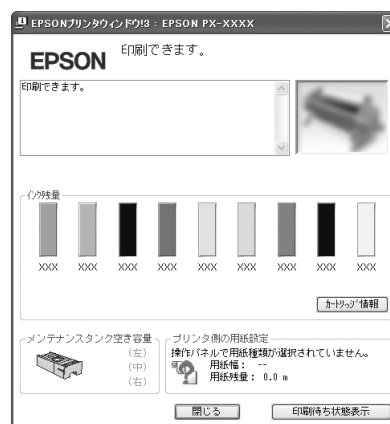
プリンタドライバは、アプリケーションソフトからの印刷指示に従ってプリンタに印刷させるためのソフトウェアです。

主な機能は以下の通りです。

- アプリケーションソフトから受け取った印刷データを、プリンタで印刷できるデータに変換してプリンタに送ります。
- 設定画面で用紙種類や用紙サイズなど印刷条件を設定します。この印刷条件は登録できます。また、登録した設定の書き出しや取り込みができます。

- ［ユーティリティ］タブからプリンタの印刷品質を保つための各種メンテナンス機能の実行と、プリンタドライバの動作や表示に関する設定をします。また、プリンタドライバの全設定を書き出したり取り込むことができます。

EPSONプリンタウィンドウ!3

インク残量やプリンタのエラーなどを表示します。プリンタドライバのインストール時に自動的にインストールされます。

プリンタドライバの設定画面の表示

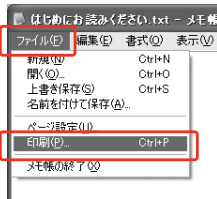
プリンタドライバの設定画面は、以下の 2 つの方法で表示できます。

- アプリケーションソフトから表示する方法
- プリンタアイコンから表示する方法

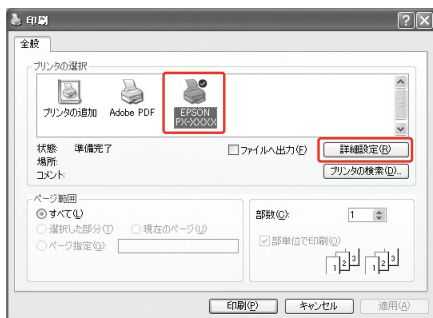
アプリケーションソフトから表示する

印刷設定をするときは、この方法で表示します。

お使いのアプリケーションソフトによって手順が異なることがあります。

1 アプリケーションソフトで、［ファイル］－［印刷］（または［プリント］など）をクリックします。

2 プリンタを選択して、［プロパティ］（または［詳細設定］など）をクリックします。

設定画面の例

設定画面の例

プリンタドライバの設定画面が表示されます。

この後は、各項目を設定し、印刷を実行します。

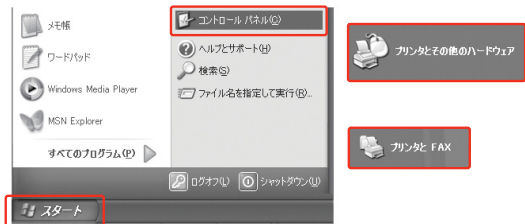
以上で終了です。

プリンタアイコンから表示する

ノズルチェックやヘッドクリーニングなどのメンテナンス機能を実行するときや、アプリケーションソフト共通の設定をするときは、この方法で表示します。

1 ［プリンタと FAX］または［プリンタ］フォルダを開きます。

Windows XP

［スタート］－［コントロールパネル］－［プリンタとその他のハードウェア］－［プリンタと FAX］の順にクリックします。

参考

Windows XP のコントロールパネルの表示を［クラシック表示］にしている場合は、［スタート］－［コントロールパネル］－［プリンタと FAX］の順にクリックします。

Windows Vista

［ ］－［コントロールパネル］－［ハードウェアとサウンド］の［プリンタ］の順にクリックします。

Windows 2000

［スタート］－［設定］－［プリンタ］の順にクリックします。

2 **本製品のプリンタアイコンを右クリックして［印刷設定］をクリックします。**

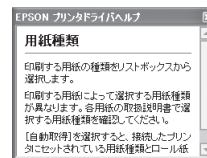
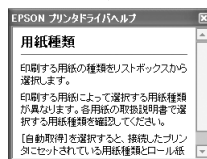
プリンタドライバの設定画面が表示されます。

ここでの設定が、アプリケーションソフトからプリンタドライバを表示したときの初期設定になります。

以上で終了です。

プリンタドライバのヘルプ表示方法

ヘルプの表示方法は、以下の 2 通りあります。

- 知りたい項目上で右クリックして、［ヘルプ］をクリックします。

- 画面の右上にある ? アイコンをクリックして、知りたい項目をクリックします。

プリンタドライバを使った印刷の流れ

アプリケーションソフトからエプソン製プリンタドライバを使って印刷する手順は以下の通りです。

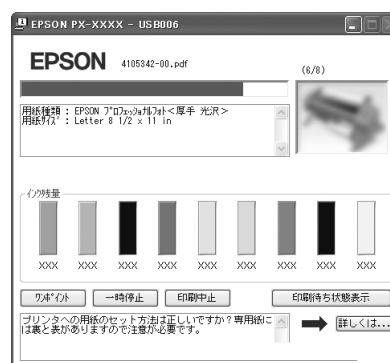
プリンタドライバの設定

アプリケーションソフトで印刷データを作成します。
印刷する前にプリンタドライバの設定画面を開き、用紙サイズや用紙種類などの設定を確認します。

印刷状況の確認

印刷を開始すると、以下の画面で印刷状況を確認できます。

プログレスメータ

印刷を開始すると画面右下に表示されます。印刷処理状況やインク残量 / 型番情報などを確認できるほか、印刷を中止できます。

印刷キュー

印刷データの情報や印刷待ちデータなどを確認できるほか、印刷の中止などができます。印刷キューはタスクバーのプリンタアイコンをダブルクリックすると表示されます。

印刷の中止方法

データの転送中はコンピュータ側で印刷を中止します。

印刷を中止する

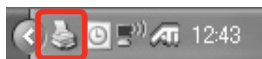
画面右下に表示されるプログレスメータの［印刷中止］をクリックします。

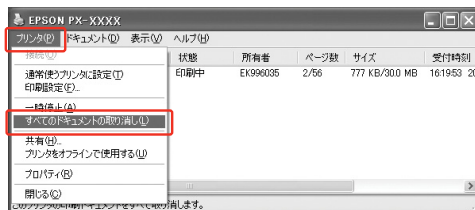
参考

- プログレスメータは、コンピュータからプリンタへの印刷データの送信状況を表示しています。印刷データの送信が完了すると表示は消えます。
- すでにプリンタに送られてしまった印刷データは削除できません。送信済みの印刷データはプリンタ側で印刷を中止してください。

印刷待ちのデータを削除する

コンピュータ内に蓄積されている印刷待ちのデータを削除する方法は、以下の通りです。

1 **タスクバーのプリンタアイコンをダブルクリックして印刷キューを表示します。**

2 **［プリンタ］をクリックして、［すべてのドキュメントの取り消し］をクリックします。**

特定の印刷データだけを削除する場合は、印刷データを選択し、［ドキュメント］の［キャンセル］をクリックします。

参考

- それぞれの印刷データは、コンピュータからプリンタへの印刷データの送信状況を表示しています。印刷データの送信が完了すると表示は消えます。
- すでにプリンタに送られてしまった印刷データは削除できません。送信済みの印刷データはプリンタ側で印刷を中止してください。

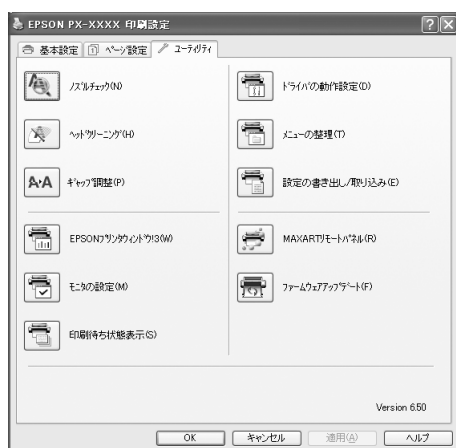
以上で終了です。

印刷中に問題が発生したとき

問題が発生したり、インクカートリッジ交換が必要になると、EPSON プリンタウィンドウ !3 にエラーメッセージが表示されます。
［対処方法］をクリックすると、対処方法が表示されます。

ユーティリティの使い方

プリンタドライバの［ユーティリティ］タブから、以下のメンテナンス機能が実行できます。

プリンタの機種によって、画面の表示内容が異なる場合があります。

ノズルチェック
ノズルチェックパターンを印刷してプリントヘッドのノズルの目詰まりを確認します。
プリントヘッドのノズルが目詰まりしていると、印刷がかすれたり変な色で印刷されたりします。ノズルが目詰まりしているときは、ヘッドクリーニングを実行します。

ヘッドクリーニング
プリントヘッドの表面を清掃し、ノズルの目詰まりを解消します。

ギャップ調整
双方向印刷をしていて、縦の罫線がずれたり、ぼけたような印刷結果になったときに、印刷時のギャップ（ずれ）を調整して、印刷品質を向上させます。

EPSON プリンタウィンドウ !3
インク残量やプリンタからのエラー情報などを表示します。

モニタの設定
EPSON プリンタウィンドウ !3 の動作環境を設定できます。

印刷待ち状態表示
印刷待ちデータの一覧（印刷キュー）画面を表示します。印刷待ちデータの一覧（印刷キュー）画面では、印刷待ちデータの情報や印刷待ちデータの削除、再印刷などが実行できます。

ドライバの動作設定
プリンタドライバの基本動作に関する各種機能が設定できます。

メニューの整理
［お気に入り］、［用紙種類］、［用紙サイズ］それぞれの表示項目を整理します。よく使う項目順に並べ替えたり、グループ分けの変更ができます。使用しない設定は非表示にしておくこともできます。

設定の書き出し / 取り込み
プリンタドライバのすべての設定をファイルに保存したり、ファイルから取り込みます。複数のコンピュータに同一のプリンタドライバの環境を作ることができるので、同じ設定で印刷したいときに便利です。

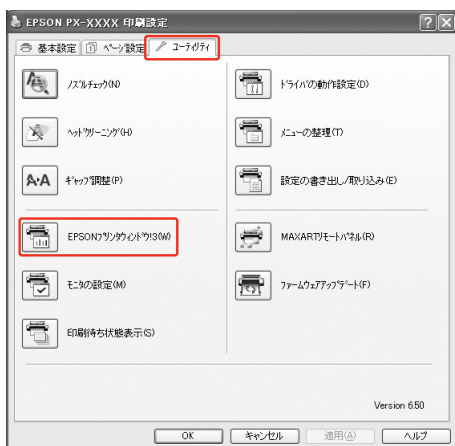
MAXART リモートパネル
プリンタの各種メンテナンスを行うソフトウェアが起動します。MAXART リモートパネルがインストールされていると起動できます。詳細は、MAXART リモートパネルのオンラインヘルプを参照してください。

ファームウェアアップデート
MAXART リモートパネルを起動し、ファームウェアを最新の状態に（アップデート）します。
あらかじめエプソンのホームページから最新のファームウェアファイルをダウンロードしておく必要があります。

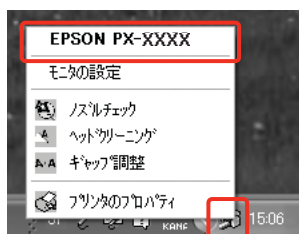
EPSON プリンタウィンドウ !3

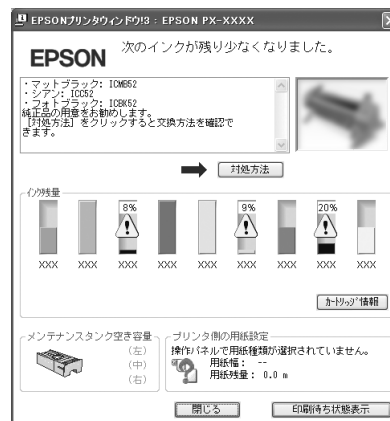
EPSON プリンタウィンドウ !3 は、プリンタの状態を確認して、エラーメッセージやインク残量などを画面上に表示するユーティリティです。プリンタの詳しい状態を知るには、［プリンタ詳細ウィンドウ］を開きます。印刷開始と同時にプリンタの状態をモニタし始め、問題があればエラーメッセージと対処方法を表示します。また、プリンタドライバの設定画面や Windows のタスクバーから呼び出して、プリンタの状態を確かめることもできます。

EPSON プリンタウィンドウ !3 の起動方法

プリンタドライバの設定画面を開き、［ユーティリティ］タブをクリックして、［EPSON プリンタウィンドウ !3］をクリックします。

参考

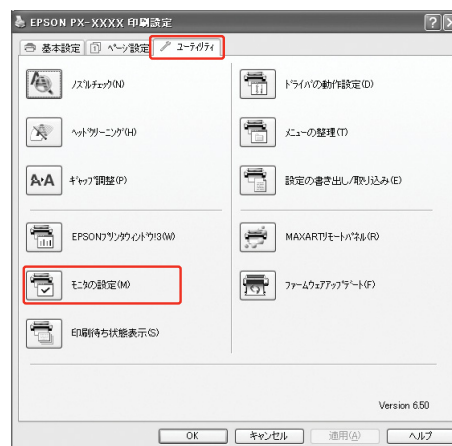
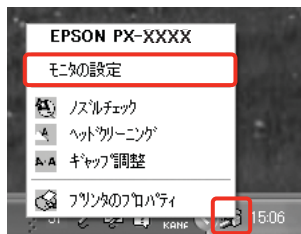
［モニタの設定］画面で［呼び出しアイコン］を選択すると、Windows のタスクバーに EPSON プリンタウィンドウ !3 の呼び出しアイコンが表示されます。このアイコンを右クリックして、メニューからプリンタ名をクリックしても、EPSON プリンタウィンドウ !3 を起動できます。

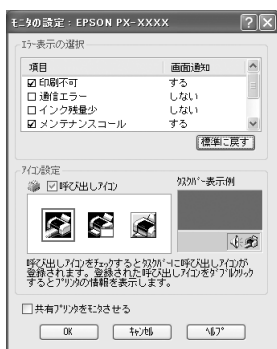
→本書 10 ページ「［モニタの設定］画面の表示方法」

EPSONプリンタウィンドウ!3の見方

［プリンタ詳細］ウィンドウでは、インク残量の目安やメンテナンスタンクの空き容量などを表示します。また、インクが少なくなり印刷できない状況になったり、何らかの問題が起こると、エラーメッセージが表示されます。メッセージに従って対処してください。

モニタ機能の設定

どのようなときにエラー表示するか、共有プリンタをモニタするか、などを設定します。

［モニタの設定］画面の表示方法

プリンタドライバの設定画面を開き、［ユーティリティ］タブをクリックして、［モニタの設定］をクリックします。

前述の方法で開いた［モニタの設定］画面で［呼び出しアイコン］を選択すると、Windows のタスクバーに EPSON プリンタウィンドウ !3 の呼び出しアイコンが表示されます。このアイコンを右クリックして、メニューから［モニタの設定］をクリックしても［モニタの設定］画面を表示できます。

［モニタの設定］画面の見方

［モニタの設定］画面では、通知の必要なエラー表示の選択や、EPSON プリンタウィンドウ !3 の呼び出しアイコンの表示設定、共有プリンタの他のコンピュータからのモニタ設定などができます。

プリンタドライバの削除

プリンタドライバの削除方法は以下の通りです。

！重要

- Windows XP/Windows Vista で削除する場合は、「コンピュータの管理者」アカウント（管理者権限のあるユーザー）でログオンしてください。なお、Windows Vista で削除するときに、管理者のパスワードまたは確認を求められることがあります。パスワードが求められたときは、パスワードを入力して操作を続行してください。
- Windows 2000 で削除する場合は、管理者権限のあるユーザー（Administrators グループに属するユーザー）でログオンしてください。

1 **プリンタの電源を切り、インターフェイスケーブルを外します。**

2 **［コントロールパネル］の［プログラムの追加と削除］（または［アプリケーションの追加と削除］）をクリックします。**

Windows Vista：
［プログラム］の［プログラムのアンインストール］をクリックします。

3 **［EPSON プリンタドライバ・ユーティリティ］を選択して［変更と削除］（または［アンインストールと変更］/［追加と削除］）をクリックします。**

4 **本製品のアイコンをクリックして、［OK］をクリックします。**

5 **この後は、画面の指示に従ってください。**

削除を確認するメッセージが表示されたら［はい］をクリックします。

ユーザー定義情報ファイルについて
プリンタドライバを削除すると以下の画面が表示されることがあります。
ユーザー定義情報ファイルには、お気に入りの設定やカスタムメディア設定、ユーザー定義サイズの用紙など、ご自分で登録されたデータが保存されています。このファイルを削除せずに残しておくと、プリンタドライバを再インストールした際に、登録されたデータがそのまま使用できます。プリンタドライバを再インストールする予定があるときは［いいえ］をクリックしてください。完全に削除したい場合は、［はい］をクリックしてください。

プリンタドライバを再インストールするときは、コンピュータを再起動してください。

以上で終了です。

プリンタソフトウェアの使い方（Mac OS X）

プリンタの追加方法

プリンタソフトウェアのインストール後、プリンタを最初に使用するときやプリンタを変更するときは、プリンタを選択してください。

プリンタは、前回使用したプリンタが選択されています。

- 本書の画面の多くは、Mac OS X v10.4 と PX-20000 のプリンタドライバを使用して作成しています。Mac OS X v10.5 では、実際の画面と多少異なることがあります。
- 機種の違いにより、実際の画面と多少異なる場合があります。
- ネットワーク接続するときは、プリンタを追加する前にプリンタの IP アドレスを設定してください。IP アドレスは、操作パネルまたは EpsonNet Config で設定できます。

1 **プリンタの電源を入れます。**

2 **プリンタを追加するためのユーティリティを起動します。**

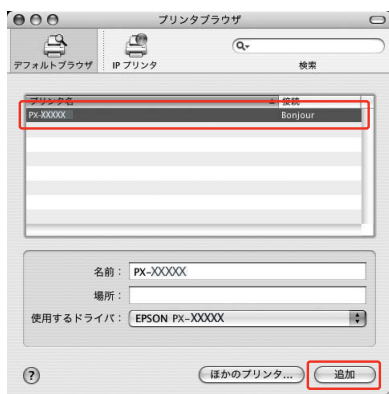
Mac OS X v10.2.8 ～ v10.4：
［アプリケーション］－［ユーティリティ］－［プリンタ設定ユーティリティ］（v10.2.8 では［プリントセンター］）をダブルクリックします。

Mac OS X v10.5：
［アプリケーション］－［システム環境設定］－［プリントとファクス］をダブルクリックします。

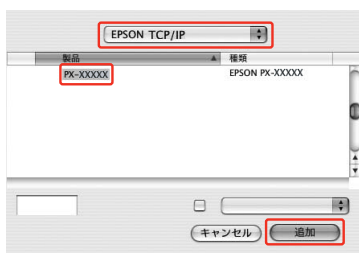
3 **プリンタを追加するための画面を表示します。**

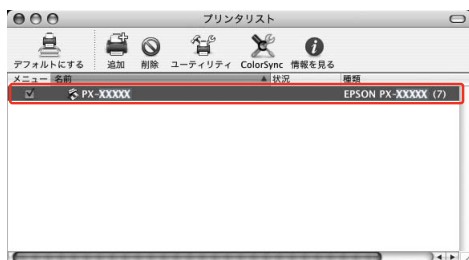
Mac OS X v10.2.8 ～ v10.4：
［追加］をクリックします。

Mac OS X v10.5：
［＋］をクリックします。

4 **本製品を選択し、［追加］をクリックします。**

ネットワーク接続で、上記の一覧に本製品が表示されないときは、次の手順に進みます。

① ［ほかのプリンタ］をクリックします。

② ［EPSON TCP/IP］など接続方法を選択後、本製品を選択して、［追加］をクリックします。

5 **リストの中に本製品が追加されたことを確認し、画面を閉じます。**

Mac OS X v10.2.8 ～ v10.4

Mac OS X v10.5

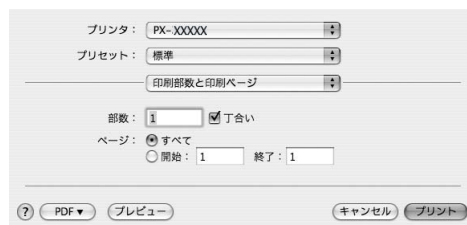
以上で終了です。

プリンタソフトウェアの構成

プリンタドライバ

プリンタドライバは､アプリケーションソフトからの印刷指示に従ってプリンタに印刷させるためのソフトウェアです。

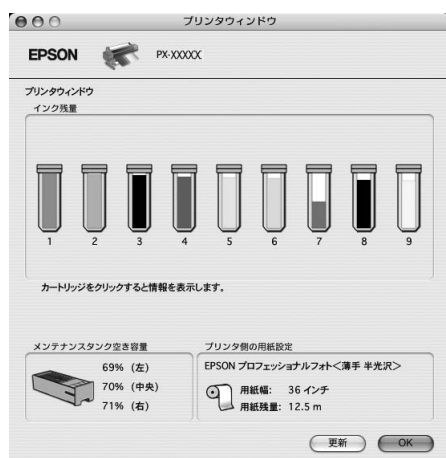
主な機能は以下の通りです。

- アプリケーションソフトから受け取った印刷データを、プリンタで印刷できるデータに変換してプリンタに送ります。
- プリンタドライバの設定画面で用紙種類や用紙サイズなど印刷条件を設定します。

EPSON Printer Utility2 / 3

ノズルチェックやヘッドクリーニングなどのメンテナンス機能を実行します｡プリンタドライバのインストール時に自動的にインストールされます。

EPSON Printer Utility2 は Mac OS X v10.2.8 ～ v10.4 用、EPSON Printer Utility3 は Mac OS X v10.5 用のソフトウェアです。

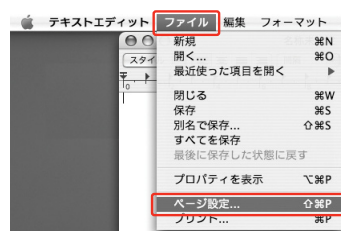
EPSON プリンタウィンドウ

インク残量やプリンタのエラーなどを表示します。

プリンタドライバの設定画面の表示

プリンタドライバの設定画面には、以下の 2 種類があり、表示手順が異なります。また、お使いのアプリケーションソフトによって、各画面を表示する手順も異なることがあります。

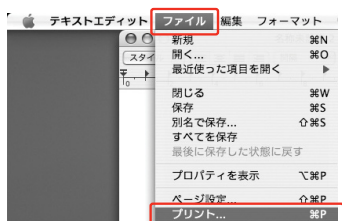
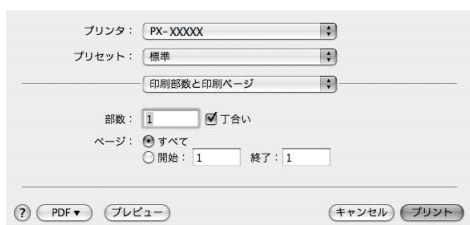
- ［用紙設定］画面
  用紙に関する項目（用紙種類や用紙サイズなど）を設定する画面です。
- ［印刷］画面
  印刷品質に関する項目を設定する画面です。

［用紙設定］画面を表示する

1 **アプリケーションソフトで、［ファイル］メニューをクリックして、［ページ設定］または［用紙設定］をクリックします。**

2 **［用紙設定］画面が表示されます。**
［用紙サイズ］の項目では、用紙サイズ、フチなし方法、給紙方法、印刷領域を設定します。

以上で終了です。

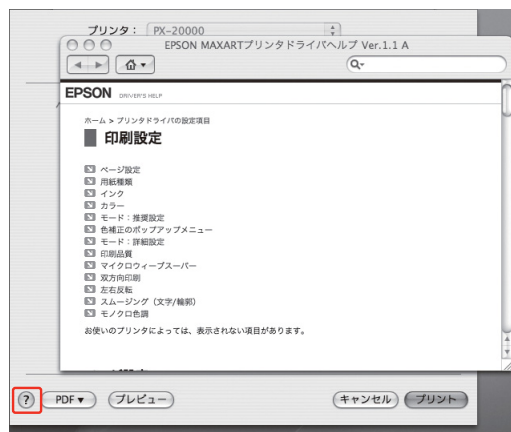
［印刷］画面を表示する

1 アプリケーションソフトで、［ファイル］メニューをクリックして、［プリント］（または［印刷］など）をクリックします。

2 ［印刷］画面が表示されます。

Mac OS X v10.5 では、さらに矢印（▼）をクリックします。

この後は、各項目を設定し、印刷を実行します。

以上で終了です。

プリンタドライバのヘルプ表示方法

プリンタドライバの設定画面の ? をクリックします。

プリンタドライバの削除

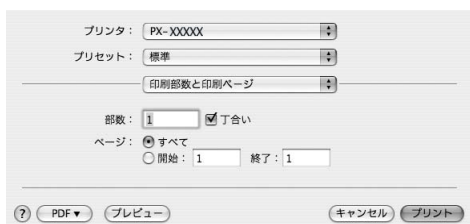
プリンタドライバを削除する場合は、該当のプリンタドライバのインストール時に使用したインストールソフトの「アンインストーラ」を使用してください。

> **！重要**
> エプソン販売のホームページからダウンロードしたプリンタドライバをインストールした場合も、必ずインストールソフトの「アンインストーラ」で削除してください。製品添付の CD-ROM のアンインストーラで削除することはできません。

プリンタドライバを使った印刷の流れ

アプリケーションソフトからエプソン製プリンタドライバを使って印刷する手順は以下の通りです。

プリンタドライバの設定

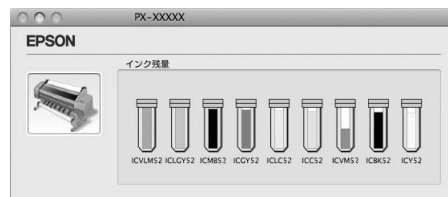
アプリケーションソフトで印刷データを作成します。
印刷する前には、プリンタドライバの設定画面を開き、用紙サイズや用紙種類などの設定を確認します。

印刷状況の確認

1 ［Dock］内の［プリンタ］アイコンをクリックします。

2 印刷状況が表示されます。印刷データの情報や印刷待ちデータなどが確認できるほか、印刷の中止などもできます。

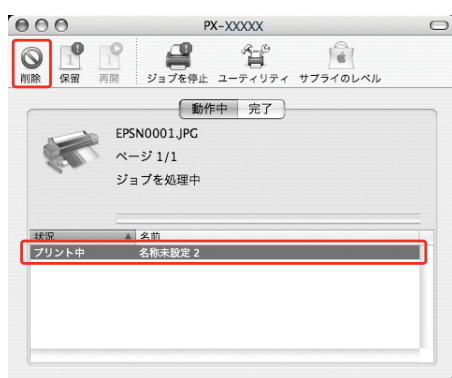
以上で終了です。

EPSON プリンタモニタ

Mac OS X v10.5 使用時に一部の機種では、印刷を開始すると画面に EPSON プリンタモニタが表示されます。印刷処理状況やインク残量 / 型番情報などを確認できます。

印刷の中止方法

データの転送中はコンピュータ側で印刷を中止します。

1 **［Dock］内の［プリンタ］アイコンをクリックします。**

2 **中止したい印刷データをクリックして、［削除］をクリックします。**

参考
- 印刷待ちのデータを削除したいときも、手順は同じです。
- すでにプリンタ側に送られてしまった印刷データは削除できません。送信済みの印刷データはプリンタ側で印刷を中止してください。

以上で終了です。

印刷中に問題が発生したとき

印刷中にエラーが発生するとエラーメッセージが表示されます。対処方法がわからないときは印刷を中止して、EPSON プリンタウィンドウを起動して確認してください。

ユーティリティの使い方

画面に表示されるボタンは機種により異なります。

［EPSON Printer Utility2/3］から、以下のメンテナンス機能が実行できます。

EPSON プリンタウィンドウ
インク残量やプリンタからのエラー情報などを表示します。

ノズルチェック
ノズルチェックパターンを印刷してプリントヘッドのノズルの目詰まりを確認します。
プリントヘッドのノズルが目詰まりしていると、印刷がかすれたり変な色で印刷されたりします。ノズルが目詰まりしているときは、ヘッドクリーニングを実行します。

ヘッドクリーニング
プリントヘッドの表面を清掃し、ノズルの目詰まりを解消します。

ギャップ調整
双方向印刷をしていて、縦の罫線がずれたり、ぼけたような印刷結果になったときに、印刷時のギャップ（ずれ）を調整して、印刷品質を向上させます。

MAXART リモートパネル
プリンタの各種メンテナンスを行うソフトウェアを起動します。MAXART リモートパネルがインストールされていると起動できます。詳細は、MAXART リモートパネルのオンラインヘルプを参照してください。

EPSON Printer Utility2/3 の起動方法

以下の 2 通りあります。

- ［アプリケーション］フォルダー［EPSON Printer Utility2/3］アイコンの順にダブルクリックします。
- ［印刷］画面から［印刷設定］を選択し、 をクリックします。

機種によっては が表示されないことがあります。

EPSON プリンタウィンドウ

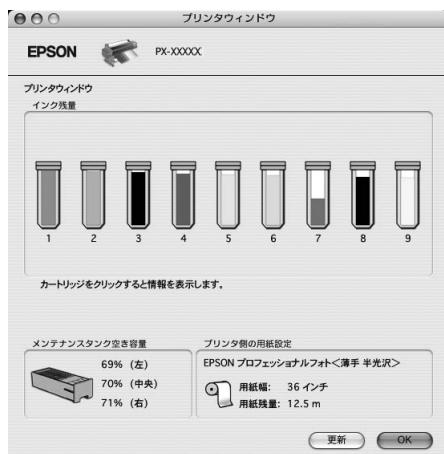
EPSON プリンタウィンドウは、プリンタの状態を確認して、エラーメッセージやインク残量などを画面上に表示するユーティリティです。

エラーメッセージ（プリンタのエラー）は、EPSON プリンタウィンドウの画面を開いていなくても、エラーが発生すると自動的に画面上に表示されます。

EPSON プリンタウィンドウの起動方法

［EPSON Printer Utility2/3］画面を開いて［EPSON プリンタウィンドウ］をクリックします。

EPSON プリンタウィンドウの見方

EPSON プリンタウィンドウでは、インク残量の目安やメンテナンスタンクの空き容量を表示します。また、印刷中にエラーが発生すると、エラーメッセージが表示されます。メッセージに従って対処してください。

目的別印刷

色合いを調整して印刷

本製品のプリンタドライバには、印刷データに対してカラーマネジメントするための設定と、プリンタドライバのみでよりきれいに印刷する色調整の 2 つの方法が用意されています。どちらも、元データを加工せずに色合いを調整して印刷します。

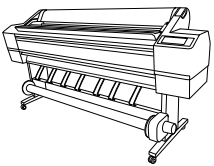
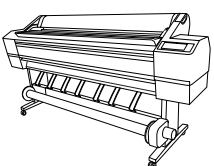
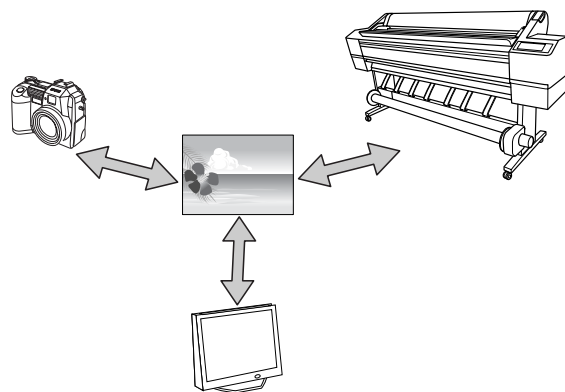
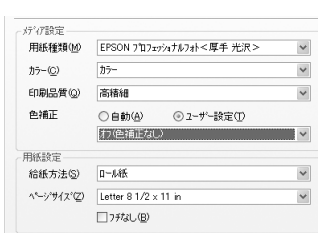
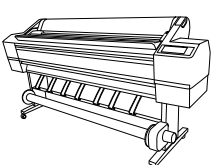
→本書 22 ページ「カラーマネジメントの方法」

カラーマネジメント

カラーマネジメントシステム

同じ画像データでも、原画、ディスプレイでの表示、プリンタの印刷結果で、色合いが異なって見えます。これは、スキャナやディスプレイ、プリンタといった入出力機器の発色特性の違いによって生じます。この入出力機器間の特性の違いを補正し、色を近付けるのがカラーマネジメントシステムです。Windows や Mac OS などの OS にはカラーマネジメントシステムが標準搭載されています。また、画像処理用のアプリケーションソフトも標準搭載しているものがあります。

プリンタドライバで行うカラーマネジメントは、Windows では ICM、Mac OS X では ColorSync として OS に標準搭載されているものを利用します。カラーマネジメントシステムでは、装置間のカラーマッチングを行う方法として、ICC プロファイルと呼ばれる色情報の定義ファイルを使用します。プリンタでは、機種ごとに、さらに用紙種類ごとに ICC プロファイルが用意されています。デジタルカメラなどでは、sRGB や AdobeRGB などの色領域をプロファイルとして指定することがあります。

カラーマネジメントでは、データの処理時に入力側装置のプロファイルを入力プロファイル(またはソースプロファイル)、プリンタ側をプリンタプロファイル(またはアウトプットプロファイル)と呼びます。

!重要

デジタルカメラやスキャナで取り込んだ画像をプリンタで印刷すると、多くの場合、ディスプレイで見た色と実際の印刷結果の色合いにずれが生じます。その原因は、「取り込み」、「表示」、「印刷」の 3 者間で色の発色方法が異なるためです。各装置間の色合いのズレを少なくするために、それぞれの装置間でカラーマネジメントを行ってください。

カラーマネジメントの方法

プリンタドライバでのカラーマネージメント

	アプリケーションソフト		プリンタドライバ		プリンタ
ドライバ ICM 補正によるカラーマネジメント（Windows のみ）	画像データ	→	入力プロファイルの指定 プリンタプロファイルの指定	→	
印刷する画像データの入力プロファイルとプリンタプロファイルをプリンタドライバで指定して印刷します。カラーマネジメントに対応していないアプリケーションからも本機能が利用できます。カラーマネジメントに対応したアプリケーションから本機能を利用するときは、印刷時のカラーマネジメント機能を無効にします。 →本書 23 ページ「ドライバ ICM 補正による カラーマネジメント（Windows のみ）」					

ホスト ICM/ ColorSync による カラーマネジメント	画像データ 入力プロファイルの指定	→	プリンタプロファイルの指定	→	
プリンタドライバ側でプリンタプロファイルの設定をして印刷します。アプリケーションソフトは、ICM または ColorSync に対応している必要があります。OS のカラーマネジメント機能を利用するため、Windows と Mac OS X では、印刷色に差が出ることがあります。 →本書 24 ページ「ホスト ICM/ColorSync による カラーマネジメント」					

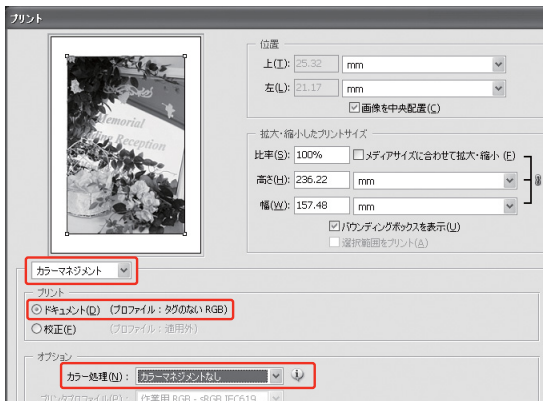
アプリケーションソフトでのカラーマネージメント

	アプリケーションソフト		プリンタドライバ		プリンタ
アプリケーションソフトによるカラーマネジメント	画像データ 入力プロファイルの指定 プリンタプロファイルの指定	→		→	
印刷する画像データの入力プロファイルとプリンタプロファイルをアプリケーションソフトで指定して印刷します。アプリケーションソフトが独自にカラーマネジメント機能を搭載していると、この方法が選択できます。プリンタドライバ側のカラー補正はオフ（色調整なし）にします。OS のカラーマネジメント機能を使用しないので、印刷結果に OS による違いは発生しません。 →本書 25 ページ「アプリケーションソフトによる カラーマネジメント」					

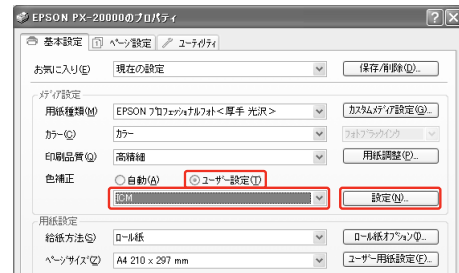
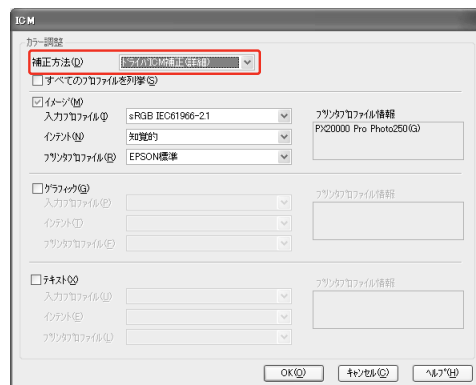
ドライバ ICM 補正による カラーマネジメント（Windowsのみ）

ここでは Adobe Photoshop CS2 を例に説明します。
カラーマネジメント機能に対応していないアプリケーションソフトで本機能を利用するときは、手順 4 から始めてください。

1 ［ファイル］メニューの［プリントプレビュー］をクリックします。

2 ［カラーマネジメント］を選択して、［プリント］の［ドキュメント］を選択します。［オプション］の［カラー処理］で［カラーマネジメントなし］を選択して、［完了］をクリックします。

3 プリンタドライバの設定画面を表示します。

→本書 5 ページ「アプリケーションソフトから 表示する」

4 ［基本設定］画面で［ユーザー設定］をクリックし、［ICM］を選択して［設定］をクリックします。

5 ［ICM］画面で［ドライバ ICM 補正（簡易）］または［ドライバ ICM 補正（詳細）］を選択します。

6 ［入力プロファイル］、［プリンタプロファイル］、［インテント］を設定します。

［ドライバ ICM 補正（詳細）］を選択すると、写真画像のようなイメージデータのほか、グラフィックデータやテキストデータに個別にプロファイルとインテントが指定できます。

インテント	説明
彩度	彩度を保持して変換します。
知覚的	視覚的に自然なイメージになるように変換します。画像データが広範囲な色域を使用している場合に使用します。
相対的な色域を維持	元データの色域座標と印刷時の色域座標が一致するように、さらに白色点（色温度）の座標値が一致するように変換します。多くのカラーマッチング時に使用されます。
絶対的な色域を維持	元データも印刷データも絶対的な色域座標に割り当てて変換します。従って、元データと印刷データの白色点（色温度）は色調補正されません。ロゴカラーの印刷など、特殊な用途で使用します。

7 その他の設定を確認し、印刷を実行します。

以上で終了です。

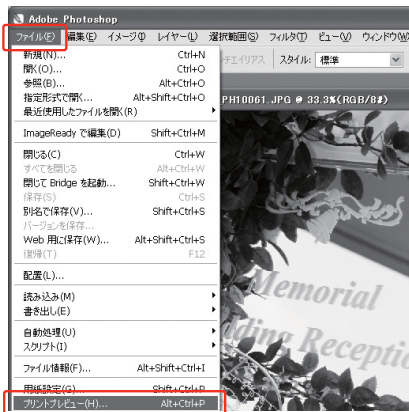
ホスト ICM/ColorSync による カラーマネジメント

ここでは Adobe Photoshop CS2 を例に説明します（画面は Windows）。

- 画像データは、あらかじめ入力プロファイルが埋め込まれた状態のものを使用してください。
- アプリケーションソフトは、ICM または ColorSync に対応している必要があります。

Mac OS X v10.5 で Adobe 製のアプリケーションソフトウェア（Adobe Photoshop CS2、Adobe Photoshop CS3、Adobe Photoshop Lightroom）をご使用になる場合、ここで説明するホスト ICM/ColorSync によるカラーマネジメントは利用できません。アプリケーションによるカラーマネジメントを利用してください。

	Adobe Photoshop CS2 Adobe Photoshop CS3 Adobe Photoshop Lightroom	その他のアプリケーションソフトウェア
Mac OS X v10.2.8 ～ v10.4	利用可	利用可
Mac OS X v10.5	利用不可	利用可

1 ［ファイル］メニューの［プリントプレビュー］をクリックします。

2 ［カラーマネジメント］を選択して、［プリント］の［ドキュメント］を選択します。［オプション］の［カラー処理］で［プリンタによるカラー処理］を選択して、［完了］をクリックします。

3 プリンタドライバの設定画面（Windows）または［印刷］画面（Mac OS X）を表示します。

Windows

→本書 5 ページ「アプリケーションソフトから 表示する」

Mac OS X

→本書 15 ページ「プリンタドライバの 設定画面の表示」

4 **Windows は、［基本設定］画面で［ユーザー設定］をクリックし、［ICM］を選択して［設定］をクリックします。**
Mac OS X v10.2.8 ～ v10.4：
一覧から［プリンタのカラー調整］（または［カラー調整］）を選択します。

Mac OS X v10.5 で［ColorSync］を利用する場合は［一覧］から［カラー・マッチング］を選択してください。

5 Windows は［ホスト ICM 補正］を選択します。Mac OS X v10.2.8 ～ v10.4：［ColorSync］をクリックします。

プリンタプロファイルは自動設定されますが、変更することも可能です。

> **参考**
> - Mac OS X v10.5 で［ColorSync］を利用する場合は［印刷設定］画面の［カラー調整］で［オフ（色補正なし）］を選択してください。
> - Mac OS X v10.5 の［印刷設定］画面で［マニュアル色補正］または［オートフォトファイン !EX］を選択する場合は、カラーマネジメントは利用できません。

6 その他の設定を確認し、印刷を実行します。

以上で終了です。

アプリケーションソフトによるカラーマネジメント

ここでは Adobe Photoshop CS2 を例に基本的な手順を説明します（画面は Windows）。
設定の詳細は、アプリケーションソフトの取扱説明書を参照してください。

1 ［ファイル］メニューの［プリントプレビュー］をクリックします。

2 ［カラーマネジメント］を選択して、［プリント］の［ドキュメント］を選択します。［オプション］の［カラー処理］で［Photoshop によるカラー処理］を選択し、［プリンタプロファイル］と［マッチング方法］を選択して、［完了］をクリックします。

3 プリンタドライバの設定画面（Windows）または［印刷］画面（Mac OS X）を表示します。

Windows
→本書 5 ページ「アプリケーションソフトから 表示する」
Mac OS X
→本書 15 ページ「プリンタドライバの 設定画面の表示」

4 Windows は、［基本設定］画面で［ユーザー設定］をクリックし、［オフ（色補正なし）］を選択します。
Mac OS X v10.2.8 〜 v 10.4 ：
［プリンタのカラー調整］（または［カラー調整］）画面で［オフ（色補正なし）］を選択します。
Mac OS X v10.5：
［印刷設定］画面の［カラー調整］で［オフ（色補正なし）］を選択します。

5 その他の設定を確認し、印刷を実行します。

以上で終了です。

プリンタドライバによる色調整

本製品のプリンタドライバで色の微調整ができます。オートフォトファイン !EX を使用すると、自動的に画像データを最適な状態に補正します。

マニュアル色補正による手動調整

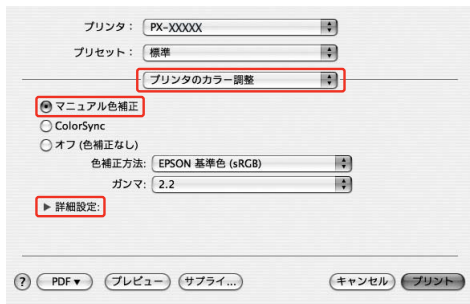
印刷するデータの色合いや明度などを、プリンタドライバ上で微調整して印刷します。使用しているアプリケーションソフトにカラー調整機能がなかったり、手動でカラー調整するときなどに使用します。

Adobe Photoshop CS2 などのカラーマネジメント機能を持つアプリケーションソフトからプリンタドライバの色調整機能を使用するときには、アプリケーションソフト側のカラーマネジメント機能をオフにしてください。

1 プリンタドライバの設定画面（Windows）または［印刷］画面（Mac OS X）を表示します。

Windows
→本書 5 ページ「アプリケーションソフトから 表示する」
Mac OS X
→本書 15 ページ「プリンタドライバの 設定画面の表示」

2 **Windows は、［基本設定］画面で［ユーザー設定］をクリックし［マニュアル色補正］を選択して、［設定］をクリックします。**
Mac OS X v10.2.8 ～ v 10.4：
［プリンタのカラー調整］（または［カラー調整］）を選択し、［マニュアル色補正］をクリックして［詳細設定］をクリックします。
Mac OS X v10.5：
［印刷設定］を選択し、［カラー］で［カラー］［カラー調整］で［マニュアル色補正］のいずれかを選択して［詳細設定］をクリックします。

Windows

Mac OS X v10.2.8 ～ v 10.4

Mac OS X v10.5

3 **各項目を設定します。**

各項目の詳細は、プリンタドライバのオンラインヘルプを参照してください。

Windows

Mac OS X v10.2.8 ～ v10.4

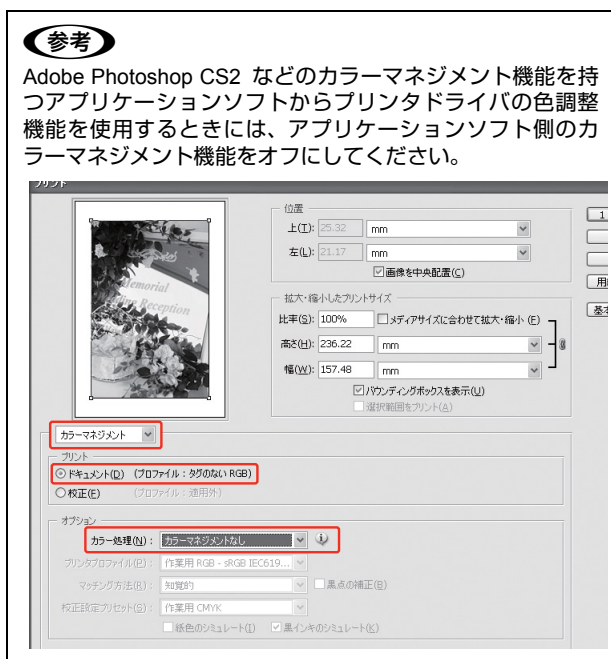
Mac OS X v10.5

Windows は画面左側のサンプル画像で確認しながら色調整できます。また、カラーサークルを使用すれば、色の微調整ができます。

4 **その他の設定を確認し、印刷を実行します。**

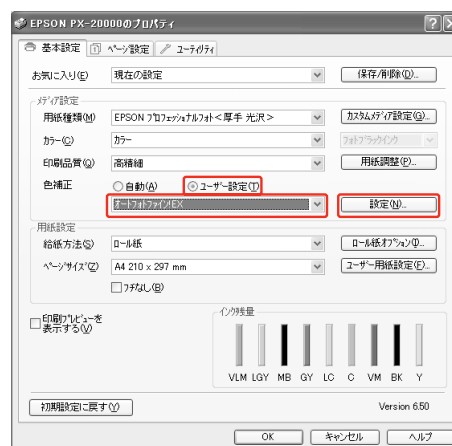
以上で終了です。

オートフォトファイン !EX による自動調整（Windows および Mac OS X v10.5）

オートフォトファイン !EX とは、エプソン独自の画像解析/処理技術を用いて自動的に画像を高画質化して印刷する機能です。シャープネスなどの特殊効果も加えて印刷できます。画像データにカラーマネジメント情報がない場合や、手軽に色調整したい場合に使用します。画像データの色領域を sRGB と想定して、より好ましい色に調整して印刷します。

Adobe Photoshop CS2 などのカラーマネジメント機能を持つアプリケーションソフトからプリンタドライバの色調整機能を使用するときには、アプリケーションソフト側のカラーマネジメント機能をオフにしてください。

1 **プリンタドライバの設定画面（Windows）または［印刷］画面（Mac OS X）を表示します。**

Windows
→本書 5 ページ「アプリケーションソフトから 表示する」
Mac OS X
→本書 15 ページ「プリンタドライバの 設定画面の表示」

2 **Windows は、［基本設定］画面で［ユーザー設定］をクリックし、［オートフォトファイン !EX］を選択して［設定］をクリックします。**
Mac OS X v10.5：
［印刷設定］を選択し、［カラー調整］で［オートフォトファイン !EX］を選択して［詳細設定］をクリックします。

Windows

Mac OS X v10.5

3 **Windows は、[オートフォトファイン !EX] 画面で印刷データにかける効果を選択します。**
Mac OS X v10.5：
[詳細設定] 画面で印刷データにかける効果を選択します。

各項目の詳細は、プリンタドライバのオンラインヘルプを参照してください。

Windows

Mac OS X v10.5

4 **その他の設定を確認し、印刷を実行します。**

以上で終了です。

モノクロ写真印刷

この機能は、PX-P/K3 インクをサポートしている機種で有効です。

アプリケーションソフトで加工することなく、階調豊かなモノクロ写真印刷が可能です。印刷時に補正するだけで、データそのものは変更されません。

Adobe Photoshop CS2 などのカラーマネジメント機能を持つアプリケーションソフトからプリンタドライバの色調整機能を使用するときには、アプリケーションソフト側のカラーマネジメント機能をオフにしてください。

1 プリンタドライバの設定画面（Windows）または［印刷］画面（Mac OS X）を表示します。

Windows

→本書 5 ページ「アプリケーションソフトから 表示する」

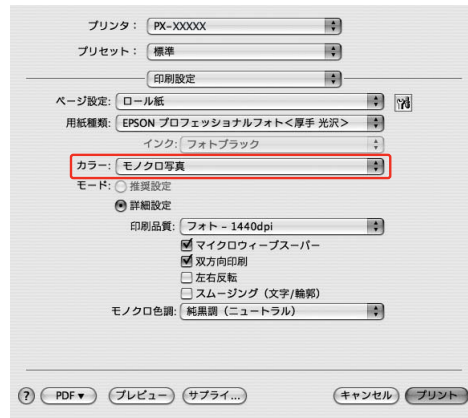
Mac OS X

→本書 15 ページ「プリンタドライバの 設定画面の表示」

2 Windows は、手順 3 に進みます。Mac OS X は、［印刷設定］を選択します。

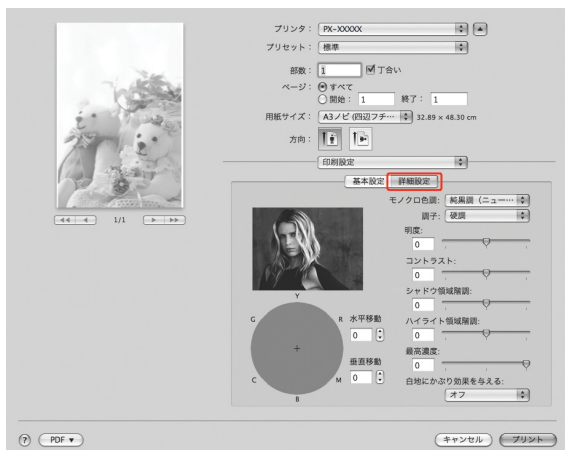
3 ［カラー］で［モノクロ写真］を選択します。

Windows

Mac OS X v10.2.8 ～ v10.4

Mac OS X v10.5

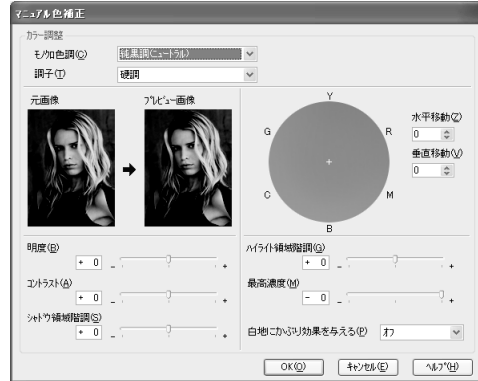
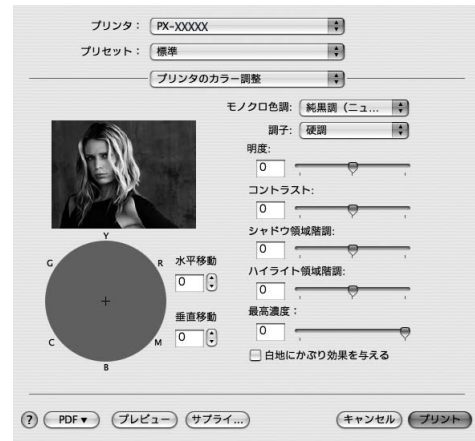
4 **Windows は、[ユーザー設定] をクリックし [マニュアル色補正] を選択して [設定] をクリックします。**
Mac OS X v10.2.8 ～ v10.4:
[プリンタのカラー調整](または [カラー調整])を選択します。
Mac OS X v10.5:
[詳細設定] を選択します。

Windows

Mac OS X v10.2.8 ～ v10.4

Mac OS X v10.5

5 **各項目を設定し、印刷を実行します。**

各項目の詳細は、プリンタドライバのオンラインヘルプを参照してください。

Windows

Mac OS X v10.2.8 ～ v10.4

Mac OS X v10.5

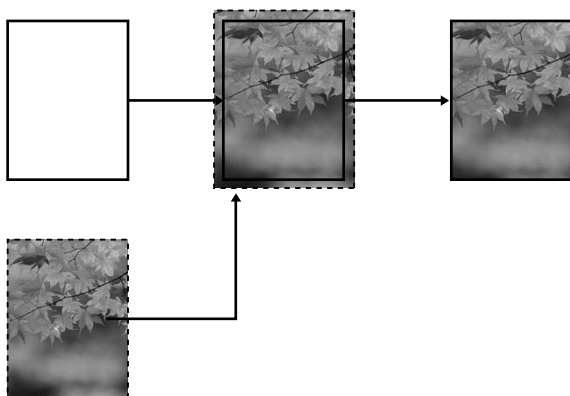
以上で終了です。

フチなし印刷

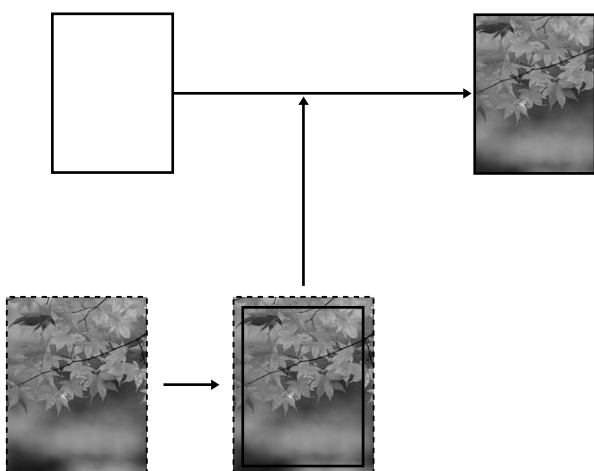
フチなし印刷機能によりフチ（余白）のない印刷ができます。フチなし印刷の方法には以下の 2 種類があります。

参考
- PX-5800 の場合は、単票紙の四辺フチなし印刷となります。
- その他の機種の場合は、ロール紙で四辺フチなし印刷、単票紙で左右フチなし印刷となります。

- 自動拡大

  プリンタドライバ側で画像データを用紙サイズより少し拡大し、はみ出させて印刷します。用紙からはみ出した部分は印刷されませんので、結果としてフチのない印刷が可能になります。

- カスタム設定（原寸維持）

  アプリケーションソフト側で実際の用紙サイズより大きな印刷データを作成しておくことにより、フチなし印刷を実現します。プリンタドライバ側では画像データを拡大しません。

  プリンタドライバによる画像の拡大を避けたいときに使用します。

アプリケーションソフト側の設定

アプリケーションソフトの「ページ設定」などで画像データのサイズを以下の通り設定します。

自動拡大の場合

- 印刷する用紙サイズと同じサイズのページ設定をする。
- 余白設定できるときは、余白を「0mm」に設定する。
- 画像データを、用紙サイズいっぱいになるように作成する。

カスタム設定（原寸維持）の場合

- PX-5800 の場合は、印刷する用紙サイズより四辺各 5mm 広くなるようにページ設定する。
- その他の機種の場合は、印刷する用紙サイズより左右各 3mm 広くなるようにページ設定する。
- 印刷する用紙サイズより左右各 3mm 広くなるようにページ設定する。
- 余白設定できるときは、余白を「0mm」に設定する。
- 画像データを、用紙サイズいっぱいになるように作成する。

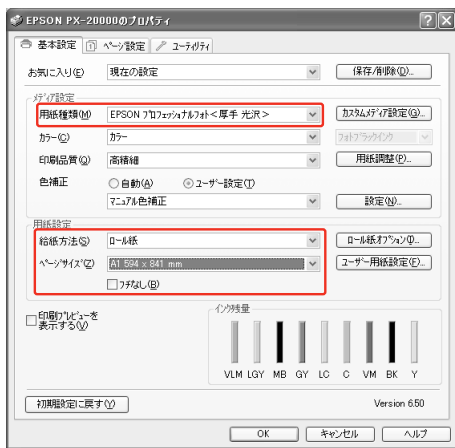
プリンタドライバ側の設定

前項の設定で作成した画像データを、以下の設定で印刷します。

Windows での設定

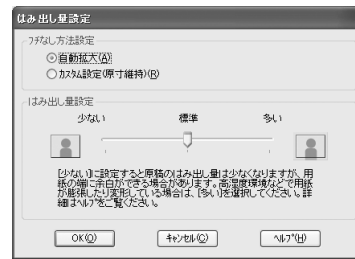
1 プリンタドライバの設定画面を表示します。

→本書 5 ページ「プリンタドライバの 設定画面の表示」

2 [基本設定] 画面で、[用紙種類]、[給紙方法]、[ページサイズ] または [用紙サイズ] を選択します。

3 ロール紙に印刷する場合は、[ロール紙オプション] をクリックし、[オートカット] を選択します。

→本書 35 ページ「フチなし印刷時のロール紙カット動作について」

4 [フチなし] をチェックし、[はみ出し量設定] をクリックします。

5 フチなし印刷の方法を [自動拡大]、[カスタム設定 (原寸維持)] から選択します。自動拡大を選択した場合は、はみ出し量を設定します。

> **参考**
> はみ出し量を [少ない] にすると画像データの拡大量が少なくなります。ただし、印刷する用紙や使用環境によっては用紙の端に余白が残ることがあります。

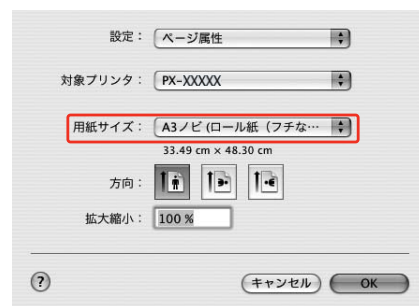
6 その他の設定を確認し、印刷を実行します。

以上で終了です。

Mac OS X での設定

1 プリンタドライバの [用紙設定] 画面を表示します。

→本書 15 ページ「プリンタドライバの 設定画面の表示」

2 [用紙サイズ] で [用紙サイズ] と [フチなし印刷の方法 (自動拡大または原寸維持)] を選択し、[OK] をクリックします。

3 [印刷] 画面を表示します。

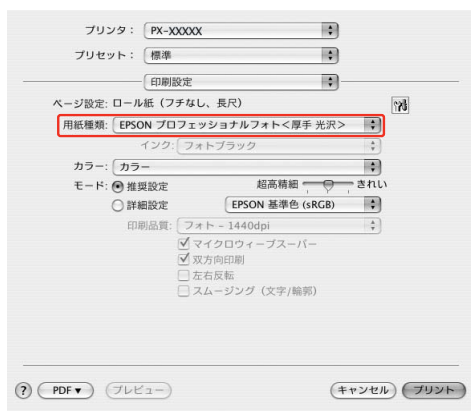
→本書 15 ページ「プリンタドライバの 設定画面の表示」

4 **用紙サイズで自動拡大を選択した場合は、はみ出し量を設定します。**
Mac OS X v10.2.8 ～ v10.4:
［はみ出し量設定］画面で設定します。
Mac OS X v10.5:
［ページレイアウト］画面で設定します。

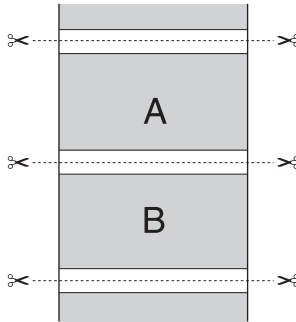
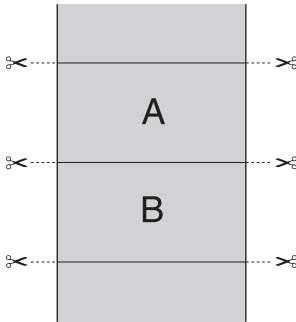
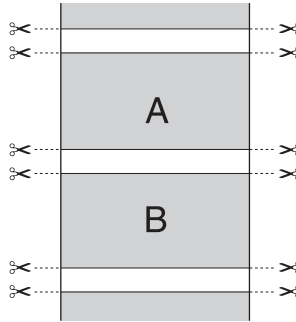
Mac OS X v10.2.8 ～ v10.4

Mac OS X v10.5

参考
はみ出し量を［少ない］にすると画像データの拡大量が少なくなります。ただし、印刷する用紙や使用環境によっては用紙の端に余白が残ることがあります。

5 **［印刷設定］画面で、［用紙種類］を選択します。**

6 **ロール紙に印刷する場合は、［ロール紙オプション］画面（Mac OS X v10.2.8 ～ v10.4）または［ページレイアウト設定］画面（Mac OS X v10.5）で、［オートカット］を選択します。**

→本書 35 ページ「フチなし印刷時のロール紙カット動作について」

7 **その他の設定を確認し、印刷を実行します。**

以上で終了です。

フチなし印刷時のロール紙カット動作について

ロール紙を使ってフチなし印刷するときは、プリンタドライバの設定（［フチなし］/［オートカット］）によって、用紙カット動作が以下のように異なります。

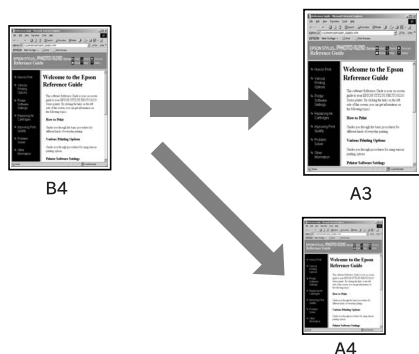
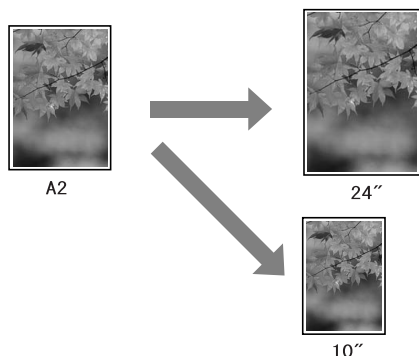
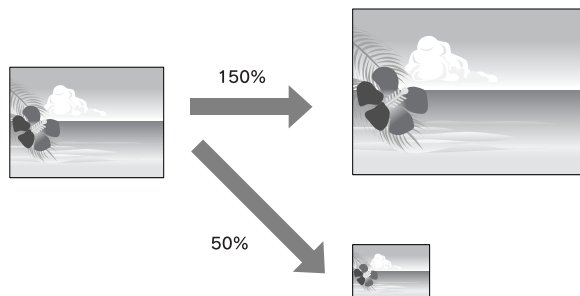
参考

- フチなし印刷時のロール紙カット機能は、ロール紙をサポートしている機種のみの機能です。
- ［カットなし］を選択すると、ロール紙はカットされません。手動でカットしてください。

	左右フチなし	四辺フチなし（1 カット）	四辺フチなし（2 カット）
プリンタドライバの設定	フチなし：オン	フチなし：オン	フチなし：オン
	オートカット：左右フチなし	オートカット：四辺フチなし 1 カット	オートカット:四辺フチなし 2 カット
プリンタの動作	A B	A B	A B
備考	プリンタドライバの初期設定は「左右フチなし」です。	• 上端は印刷動作を中断してカットするため、画像によっては多少色むらが発生することがあります。 • カット位置がズレていると連続するページの画像がわずかに上下端に残ることがありますが、印刷時間は短くなります。 • 1 カットを選択して 1 部のみ印刷するときは「四辺フチなし（2 カット）」と同じ動作をします。複数部数を連続して印刷するときには 1 枚目の上端と連続部の下端のみ、余白が残らないように 1mm 内側をカットします。	• 上端は印刷動作を中断してカットするため、画像によっては多少色むらが発生することがあります。 • 上下端に余白が残らないように、画像の内側でカットしますので指定サイズより 2mm 程度短くなります。 • 前ページの終端をカットした後、紙送りしてから次ページの上端をカットするため、80 〜 130mm 程度の切れ端が発生しますが、より正確にカットできます。

拡大 / 縮小印刷

原稿を拡大または縮小して印刷できます。設定方法には以下の３種類があります。

- フィットページ印刷（Windows のみ）
  印刷する用紙サイズに合わせて自動的に拡大 / 縮小して印刷できます。

- ロール紙の幅に合わせる（Windows のみ）
  印刷するロール紙の幅に合わせて自動的に拡大 / 縮小して印刷できます。

- 任意倍率設定
  定形外の用紙サイズの場合など、拡大 / 縮小率を任意に設定して印刷できます。

フィットページ印刷（Windows のみ）

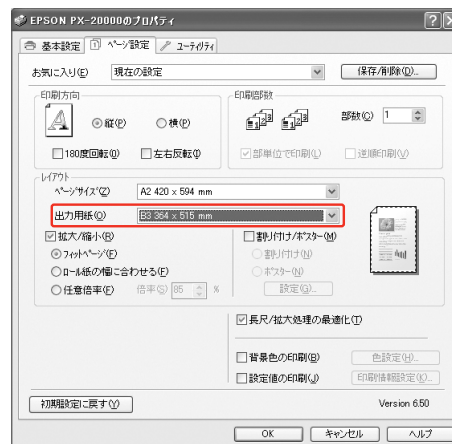
プリンタにセットした用紙サイズを選択するだけで、拡大 / 縮小率を自動的に設定して印刷できます。

1 **プリンタドライバの設定画面を表示します。**

→本書 5 ページ「プリンタドライバの 設定画面の表示」

2 **[ページ設定] タブをクリックして、[用紙サイズ] または [ページサイズ] でデータの用紙サイズと同じ用紙サイズを設定します。**

3 **[出力用紙] からプリンタにセットした用紙サイズを選択します。**

[拡大 / 縮小] の [フィットページ] が選択され、設定した用紙サイズ（=原稿のサイズ）に対して、拡大 / 縮小率が自動的に設定されます。

4 **その他の設定を確認し、印刷を実行します。**

以上で終了です。

ロール紙の幅に合わせる（Windows のみ）

参考

この機能は、ロール紙をサポートしている機種のみの機能です。

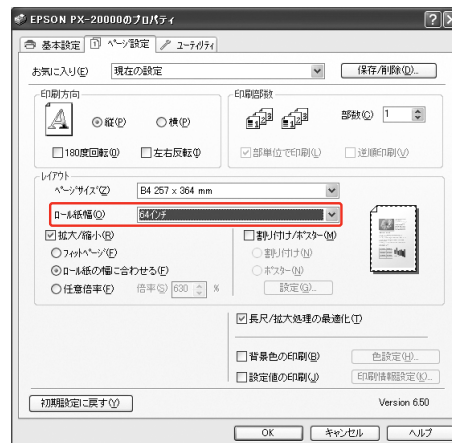
1 **プリンタドライバの設定画面を表示します。**

→本書 5 ページ「プリンタドライバの 設定画面の表示」

2 **［ページ設定］タブをクリックして、［ページサイズ］でデータの用紙サイズを設定します。**

3 **［拡大 / 縮小］をチェックし、［ロール紙の幅に合わせる］をクリックします。**

4 **［ロール紙幅］からプリンタにセットしたロール紙の幅を選択します。**

設定したページサイズ（＝原稿のサイズ）に対して、拡大 / 縮小率が自動的に設定されます。

5 **その他の設定を確認し、印刷を実行します。**

以上で終了です。

任意倍率設定印刷

拡大 / 縮小率を自由に設定して印刷できます。

Windows での設定

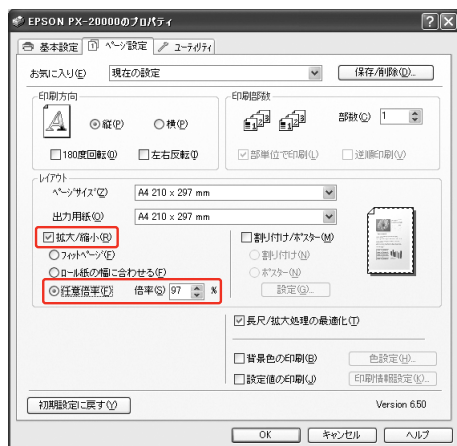
1 **プリンタドライバの設定画面を表示します。**

→本書 5 ページ「プリンタドライバの 設定画面の表示」

2 **[ページ設定]タブをクリックして、[用紙サイズ]または[ページサイズ]でデータの用紙サイズを設定します。**

3 **[出力用紙]または[ロール紙幅]からプリンタにセットした用紙サイズを選択します。**

4 **[拡大 / 縮小]をチェックし、[任意倍率]をクリックして[倍率]を設定します。**

倍率は、数値を直接入力するか、右側の三角マークをクリックして設定してください。
10 ～ 650% の間で倍率を指定できます。

5 **その他の設定を確認し、印刷を実行します。**

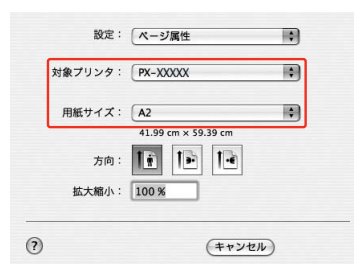
以上で終了です。

Mac OS X での設定

1 **プリンタドライバの[用紙設定]画面を表示します。**

→本書 15 ページ「プリンタドライバの 設定画面の表示」

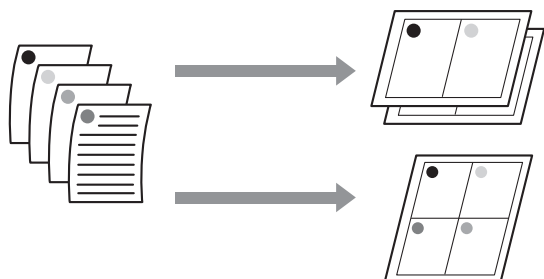
2 **[対象プリンタ]と[用紙サイズ]を選択します。**

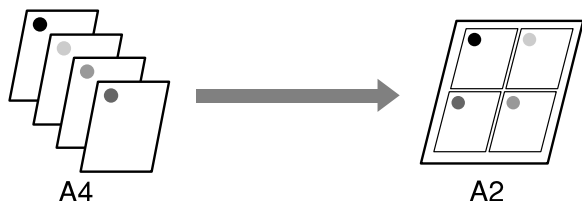
[用紙サイズ]は、プリンタにセットした用紙サイズを選択します。

3 **[拡大縮小]に倍率を入力します。**
1 ～ 100000% の間で倍率を指定できます。

4 **その他の設定を確認し、印刷を実行します。**

以上で終了です。

割り付け印刷

1 枚の用紙に複数ページ分の連続したデータを割り付けて印刷できます。
A4 サイズで作成した連続データを割り付け印刷すると以下のように印刷されます。

参考

- Windowsはプリンタドライバの機能で、Mac OS XはOSの機能で割り付け印刷をします。
- Windows での割り付け印刷機能は、フチありで印刷する場合のみ使用できます。
- Windows では、拡大 / 縮小機能（フィットページ機能）を同時に使用することで、印刷データと異なるサイズの用紙にも割り付けて印刷できます。
  →本書 36 ページ「拡大 / 縮小印刷」

Windows での設定

1 **プリンタドライバの設定画面を表示します。**

→本書 5 ページ「プリンタドライバの 設定画面の表示」

2 **［ページ設定］タブをクリックして、［割り付け / ポスター］をチェックし、［割り付け］をクリックして、［設定］をクリックします。**

3 **［割り付け順設定］画面で、割り付けるページ数と割り付け順序を設定します。**

［枠を印刷］をチェックすると、割り付けたページに枠線が印刷されます。

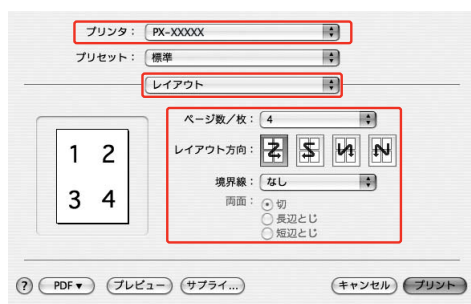
4 **その他の設定を確認し、印刷を実行します。**

以上で終了です。

Mac OS X での設定

1 **プリンタドライバの［印刷］画面を表示します。**

→本書 15 ページ「プリンタドライバの 設定画面の表示」

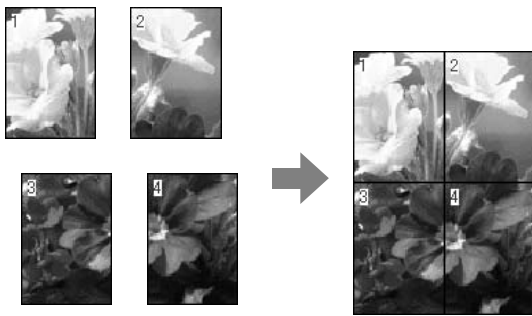
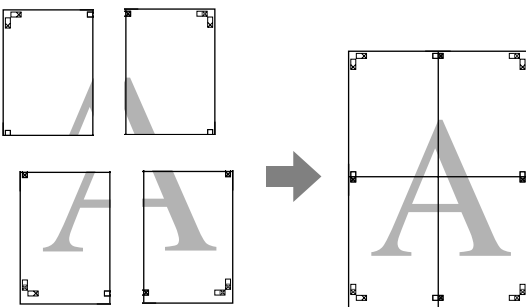
2 **［プリンタ］で使用するプリンタを選択して、リストから［レイアウト］を選択し、割り付けるページ数と割り付け順序を設定します。**

> 参考
> ［境界線］で［なし］以外を選択すると、割り付けたページに、選択した線種で枠線が印刷されます。

3 **その他の設定を確認し、印刷を実行します。**

以上で終了です。

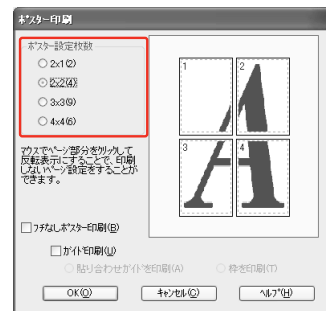
ポスター印刷
- 拡大分割して印刷 -
（Windows のみ）

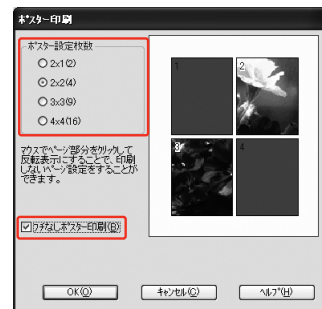
ポスター印刷機能は、印刷データを自動的に拡大分割して印刷できる機能です。Windows のみ使用できます。印刷結果をつなぎ合わせると、大きなポスターやカレンダーを作ることができます。ポスター印刷の方法には、以下の 2 種類があります。

- フチなしポスター印刷
  印刷データを自動的に拡大分割して、フチなし印刷をします。印刷結果は、そのままつなぎ合わせるだけでポスターになります。印刷データは用紙サイズより少し拡大されるため、用紙からはみ出した部分は印刷されません。この機能は、ロール紙に対してのみ有効です。

- フチありポスター印刷
  印刷データを自動的に拡大分割して、フチあり印刷をします。印刷結果の余白を切り落として貼り合わせます。

1 **プリンタドライバの設定画面を表示します。**

→本書 5 ページ「プリンタドライバの 設定画面の表示」

2 **［ページ設定］タブをクリックして、［割り付け / ポスター］をチェックし、［ポスター］をクリックして、［設定］をクリックします。**

3 **［ポスター印刷］画面で、ポスター設定枚数を選択します。**

分割数が多いほど、印刷に使用する用紙の枚数が増え、大きなポスターが作成できます。

4 **フチなしポスター印刷をするには、［フチなしポスター印刷］をチェックし、必要に応じて印刷面を選択します。このあとは、手順 6 に進みます。**

> **！重要**
> [オートカット] を [四辺フチなし X カット] に設定していると、画像の 1~2mm 内側でカットされるため、きれいに貼り合わせることができません。
> [カットなし]、[左右フチなし] を選択してください。
> →本書 35 ページ「フチなし印刷時のロール紙カット動作について」

5 **フチありポスター印刷をするには、[フチなしポスター印刷] のチェックが外れていることを確認し、必要に応じてその他の項目を設定します。**

> **参考**
> 貼り合わせ後の仕上がりサイズについて
> [枠を印刷] を選択したときとしないときの仕上がりサイズは同じになりますが、[貼り合わせガイドを印刷] を選択すると、重ね合わせ分だけ小さくなります。

6 **その他の設定を確認し、印刷を実行します。**

以上で終了です。

印刷結果の貼り合わせ方

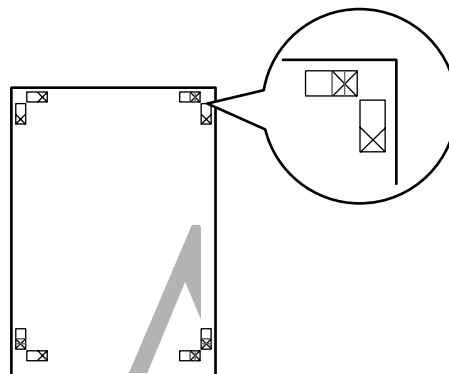
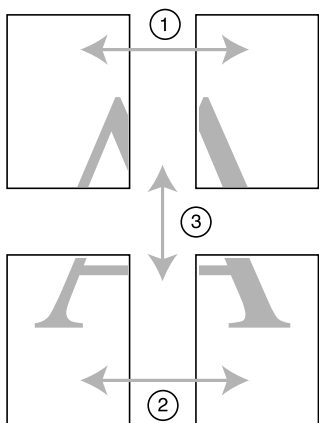
フチなしの印刷結果とフチありの印刷結果は、貼り合わせ方が異なります。

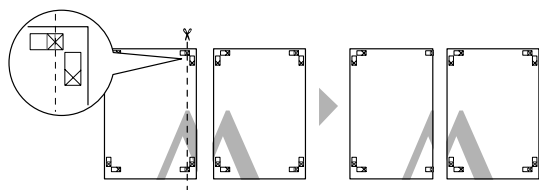
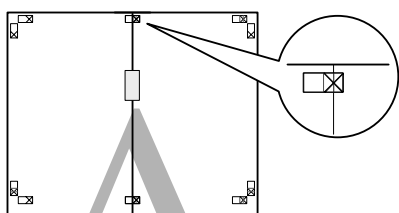
フチなしポスター印刷時

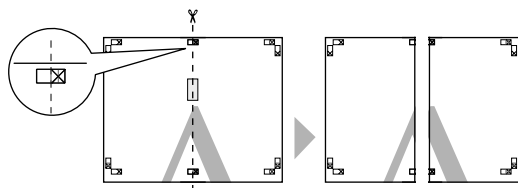
ここでは 4 枚のつなぎ合わせ方法を説明します。分割されたそれぞれの印刷結果を図柄を見ながら合わせ、裏から粘着テープなどを使ってつなぎあわせます。
下図はつなぎ合わせる順序の例です。

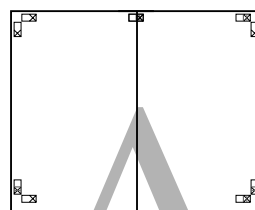
> **！重要**
> 合わせ目がそのまま図柄としてつながらないことがあります。正確な図柄が必要なときは「フチありポスター印刷」をお試しください。

フチありポスター印刷時

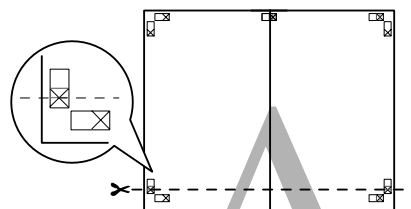
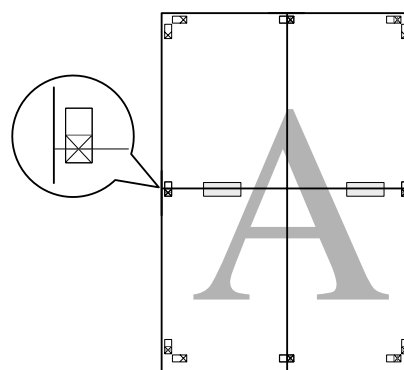
[貼り合わせガイド印刷] を選択すると、下図のような貼り合わせガイドを印刷します。ここでは、貼り合わせガイドを使用して、4 枚の用紙を貼り合わせる手順を説明します。

4 枚の用紙は、下図の順番で貼り合わせます。

1 **上段2枚の用紙を用意して、まず左側の用紙の貼り合わせガイド（縦方向の青線）を結ぶ線で切り落とします。**

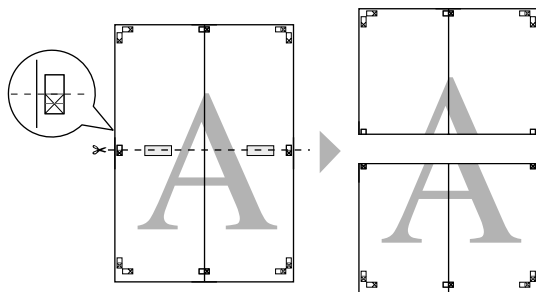
モノクロ印刷での貼り合わせガイドは黒線になります。

2 **切り落とした左側の用紙を、右側の用紙の上に重ねます。このとき、貼り合わせガイドの × 印を図のように重ね、裏面にテープを貼って仮止めします。**

3 **2 枚の用紙を重ねたまま、貼り合わせガイド（縦方向の赤線）を結ぶ線で切り落とします。**

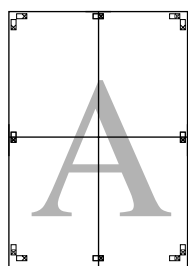
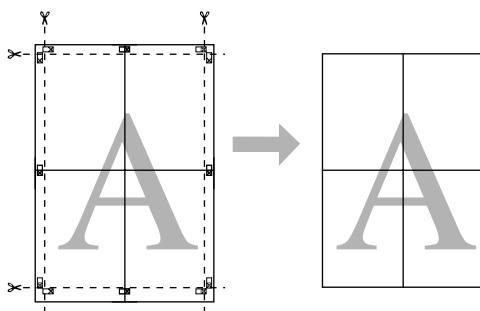
モノクロ印刷での貼り合わせガイドは黒線になります。

4 **左右の用紙を貼り合わせます。**

裏面にテープなどを貼り、つなぎ合わせてください。

5 **下段の2枚の用紙も、手順1〜4に従って貼り合わせます。**

6 **上段の用紙の貼り合わせガイド（横方向の青線）を結ぶ線で切り落とします。**

モノクロ印刷での貼り合わせガイドは黒線になります。

7 **上段の用紙を、下段の用紙の上に重ねます。このとき、貼り合わせガイドの×印を図のように重ね、裏面にテープを貼って仮止めします。**

8 **2 枚の用紙を重ねたまま、貼り合わせガイド（横方向の赤線）を結ぶ線で切り落とします。**

モノクロ印刷での貼り合わせガイドは黒線になります。

9 **上段と下段の用紙を貼り合わせます。**

裏面にテープなどを貼り、つなぎ合わせてください。

10 **すべての用紙を貼り合わせたら、外側の切り取りガイドに合わせて余白を切り取ります。**

以上で終了です。

定形サイズ以外の用紙に印刷

プリンタドライバに用意されていない用紙サイズを設定して印刷できます。

長尺印刷対応のアプリケーションソフトを使用すると、［用紙長さ］以上の印刷ができます。ただし、実際に印刷可能な長さは、アプリケーションソフトの仕様、プリンタにセットした用紙の長さ、コンピュータの環境などにより変わります。

!重要

- Mac OS X では、プリンタにセットできる最大サイズよりも大きな用紙サイズを［カスタム用紙サイズ］として設定できますが、正常に印刷できません。
- 印刷に使用するアプリケーションソフトによって、出力可能サイズに制限があります。

Windows での設定

1 **プリンタドライバの設定画面を表示します。**

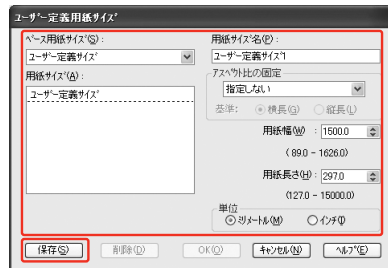
→本書 5 ページ「プリンタドライバの 設定画面の表示」

2 **［基本設定］画面で［ユーザー用紙設定］をクリックします。**

!重要

［用紙設定］でフチなしが選択されていると［ユーザー定義サイズ］は選択できません。

3 **［ユーザー定義用紙サイズ］画面で、使用する用紙サイズを設定し、［保存］をクリックします。**

- ［用紙サイズ名］の入力可能文字数は、全角 12 文字・半角 24 文字です。
- ［ベース用紙サイズ］で使用する用紙に近い定形サイズを選択すると、用紙幅 / 用紙長さにその数値が表示され、その数値から調整でき便利です。
- 縦横比が定形サイズと同じ場合は、［アスペクト比の固定］で比率が同じ定形サイズを選択し、［基準］で［横長］か［縦長］を選択すると、どちらか一方の調整だけになり便利です。

参考

- 登録済みの内容を変更するときは、画面左のリストから用紙サイズ名をクリックします。
- 登録済みの用紙サイズを削除するときは、画面左のリストから用紙サイズ名を選択して［削除］をクリックします。
- 登録できる用紙サイズは 100 個です。

4 **［OK］をクリックします。**

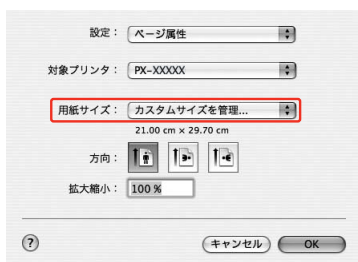
これで［用紙設定］画面の［用紙サイズ］に新しい用紙サイズが登録されました。
この後は、通常印刷する手順と同様に印刷してください。

以上で終了です。

Mac OS X での設定

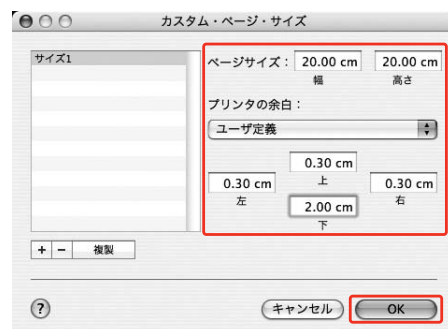
1 **プリンタドライバの［用紙設定］画面を表示します。**

→本書 15 ページ「プリンタドライバの 設定画面の表示」

2 **［用紙サイズ］で［カスタムサイズを管理］を選択します。**

3 **［+］をクリックし、用紙サイズ名を入力します。**

4 **［ページサイズ］の［幅］と［高さ］、［プリンタの余白］を入力して、［OK］をクリックします。**

指定できる用紙サイズの範囲とプリンタの余白は、印刷方法に応じて設定してください。

印刷方法（［ページ設定］）	ページサイズ	プリンタの余白
単票紙	印刷可能な用紙サイズ	上左右：3mm 下：14.2mm
ロール紙	印刷可能な用紙サイズ	上下左右：3mm
ロール紙（長尺）	印刷可能な用紙サイズ	上下：0mm 左右：3mm
ロール紙（フチなし、自動拡大）	フチなし印刷対応の用紙幅	上下左右：0mm
ロール紙（フチなし、原寸維持） ロール紙（フチなし、長尺）	フチなし印刷対応の用紙幅＋6mm	上下左右：0mm

参考

- 登録した内容を変更したいときは、［カスタム・ページ・サイズ］画面左のリストから用紙サイズ名をクリックします。
- 登録されている用紙サイズを複製したいときは、［カスタム・ページ・サイズ］画面左のリストから用紙サイズ名を選択して［複製］をクリックします。
- 登録されている用紙サイズを削除したいときは、［カスタム・ページ・サイズ］画面左のリストから用紙サイズ名を選択して［−］をクリックします。
- OS のバージョンにより、カスタム用紙の設定方法が異なります。OS 付属のマニュアルやヘルプなどでご確認ください。

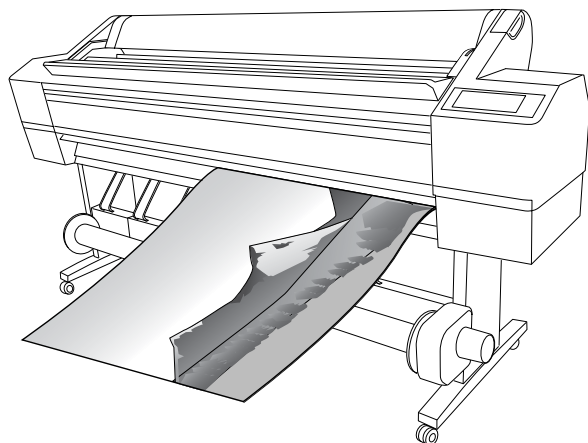
5 **［OK］をクリックします。**

これで用紙サイズのポップアップメニューに、新しい用紙サイズが登録されました。この後は、通常印刷する手順と同様に印刷してください。

以上で終了です。

長尺印刷（ロール紙へのバナー印刷）

> 参考
> この機能は、ロール紙をサポートしている機種のみの機能です。

横断幕や垂れ幕、パノラマ写真などが印刷できます。

長尺印刷には、以下の 2 種類があります。

プリンタドライバの［給紙方法］	使用可能なアプリケーションソフト
ロール紙	一般的な文書作成ソフト、画像編集ソフトなど
ロール紙　長尺モード	長尺印刷対応ソフト

アプリケーション側の設定

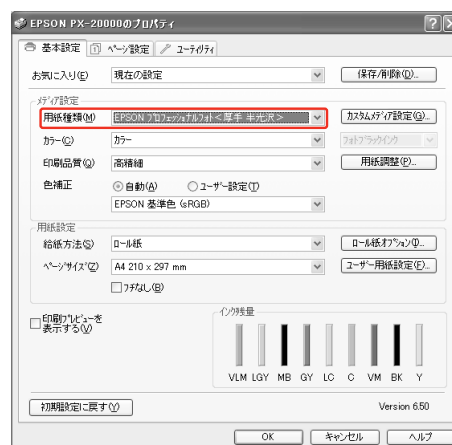
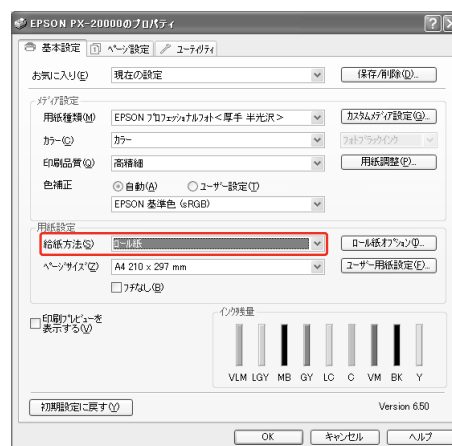
アプリケーション側で、長尺印刷向けに印刷データの作成と設定をします。
印刷したい用紙サイズの等倍、または任意の倍率で縮小した「ユーザー定義サイズ」で原稿を作成してください。

プリンタドライバ側の設定

Windows での設定

1 プリンタドライバの設定画面を表示します。

→本書 5 ページ「プリンタドライバの 設定画面の表示」

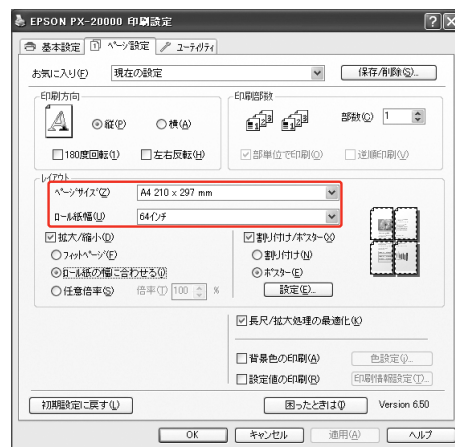
2 ［基本設定］画面で［用紙種類］を選択します。

3 ［給紙方法］で［ロール紙］または［ロール紙　長尺モード］を選択します。

［ロール紙　長尺モード］は、長尺印刷対応のアプリケーションソフトでのみ選択できます。

4 **［ロール紙オプション］をクリックし、［オートカット］で［カットあり］または［カットなし］を選択します。**

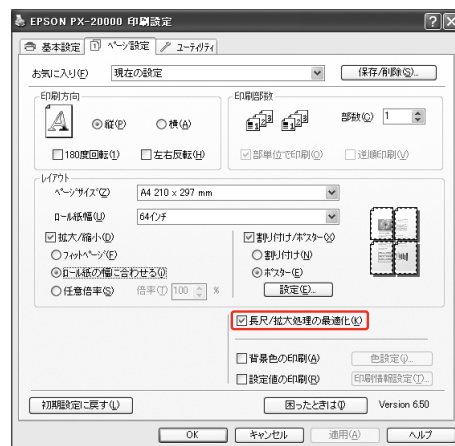
5 **［ページ設定］タブをクリックし、［拡大 / 縮小］をチェックして、［フィットページ］または［ロール紙の幅に合わせる］を選択します。**

参考

長尺印刷対応のアプリケーションソフトの場合、［給紙方法］で［ロール紙　長尺モード］を選択すれば［拡大 / 縮小］の設定は必要はありません。

6 **［ページサイズ］でアプリケーションソフトで作成した原稿のサイズを選択し、［ロール紙幅］でプリンタにセットしたロール紙の幅を選択します。**

［ユーザー定義サイズ］で自由に用紙サイズを設定できます。

長尺印刷対応のアプリケーションソフトの場合、［給紙方法］で［ロール紙　長尺モード］を選択すれば［ユーザー定義サイズ］を設定する必要はありません。

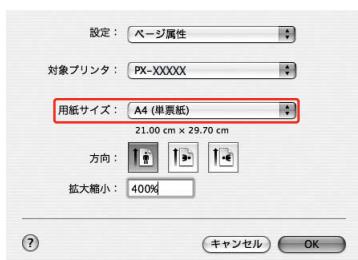
7 **［長尺 / 拡大処理の最適化］がチェックされていることを確認します。**

8 **その他の設定を確認し、印刷を実行します。**

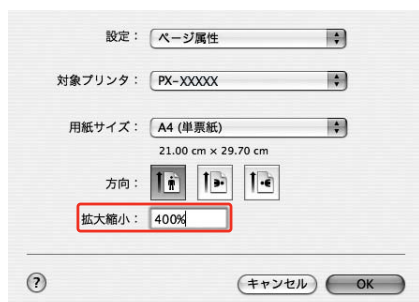
以上で終了です。

Mac OS X での設定

1 **プリンタドライバの［用紙設定］画面を表示します。**

→本書 15 ページ「プリンタドライバの 設定画面の表示」

2 **［用紙サイズ］で、アプリケーションソフトで作成した原稿のサイズを選択します。**

［カスタム用紙］で自由に用紙サイズを設定できます。

3 **印刷する用紙のサイズに合わせて、アプリケーションソフトで作成した原稿のサイズを拡大する倍率を指定します。**

4 **その他の設定を確認し、印刷を実行します。**

以上で終了です。

プリンタドライバの項目をお好みにカスタマイズ（Windows のみ）

印刷目的や使い勝手に合わせて、設定を保存したり各設定の表示項目を変更したりできます。また、設定をファイルとして書き出し、複数のコンピュータに同一のプリンタドライバの環境を作ることができます。

プリンタドライバの設定を保存

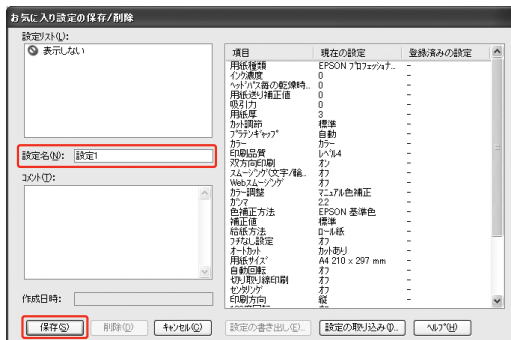
最大 100 件まで保存できます。

お気に入りとして保存

プリンタドライバの全項目を保存できます。

1 ［基本設定］画面と［ページ設定］画面の各設定を変更します。

2 ［基本設定］画面または［ページ設定］画面の［保存 / 削除］をクリックします。

3 ［設定名］にお好きな名称を入力し、［保存］をクリックします。

保存した設定は［お気に入り］から呼び出すことができます。
以上で終了です。

カスタムメディアとして保存

［基本設定］画面の［メディア設定］にある各項目の設定を保存できます。

1 ［基本設定］画面の［メディア設定］の各設定を変更します。

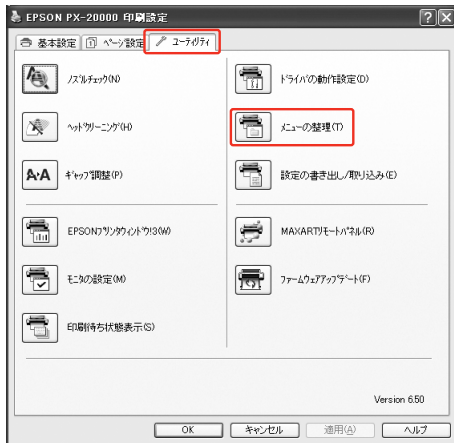
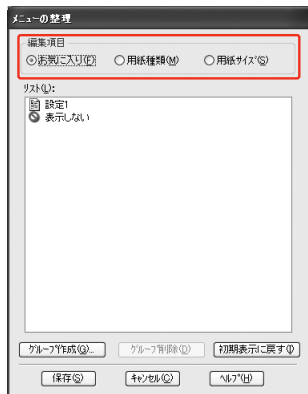
2 ［カスタムメディア設定］をクリックします。

3 ［設定名］にお好きな名称を入力し、［保存］をクリックします。

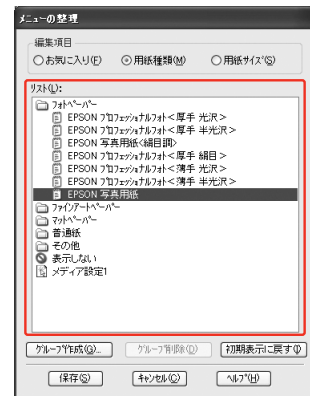
保存した設定は［用紙種類］から呼び出すことができます。
以上で終了です。

表示項目の整理

[お気に入り]、[用紙種類]、[用紙サイズ] の表示項目を整理できます。

1 [ユーティリティ] タブをクリックして、[メニューの整理] をクリックします。

2 [編集項目] を選択します。

以上で終了です。

3 [リスト] の中で、表示順やグループ分けを変更します。

- 項目の移動や表示順を変更するには、選択してドラッグ&ドロップします。
- 新規のグループを作成するには、[グループ作成] をクリックします。
- グループを削除するには、[グループ削除] をクリックします。
- 使用しない項目は [表示しない] にドラッグ&ドロップします。

登録されている項目そのものは削除できません。

4 [保存] をクリックします。

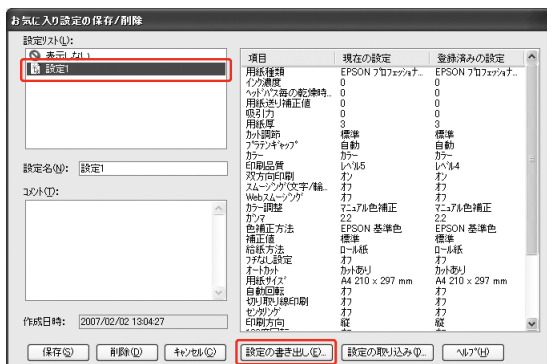
以上で終了です。

設定の書き出し / 取り込み

保存した設定は、ファイルとして書き出したり取り込んだりすることができます。

設定の書き出し

1 ［お気に入り設定の保存 / 削除］画面または［カスタムメディアの保存 / 削除］画面を表示します。

2 ［設定リスト］から書き出す設定を選択して、［設定の書き出し］をクリックします。

3 保存先を選択し、ファイル名を入力して、［保存］をクリックします。

以上で終了です。

設定の取り込み

1 ［お気に入り設定の保存 / 削除］画面または［カスタムメディアの保存 / 削除］画面を表示します。

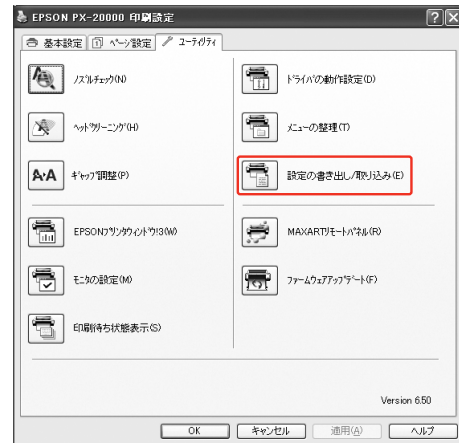
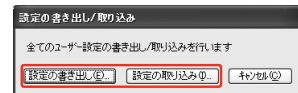
2 ［設定の取り込み］をクリックします。

3 ファイルを選択して、［開く］をクリックします。

以上で終了です。

全設定の書き出し / 取り込み

プリンタドライバのすべての設定をファイルとして書き出したり、取り込んだりすることができます。

1 ［ユーティリティ］タブをクリックして、［設定の書き出し / 取り込み］をクリックします。

2 ［設定の書き出し］または［設定の取り込み］をクリックします。

3 書き出す場合はファイル名を入力して［保存］をクリックします。取り込む場合はファイルを選択して［開く］をクリックします。

以上で終了です。